



○実践的・体験的な活動の位置付け



自分の引き出しの中を確かめ、まず、必要なものと必要でないものに分け整理します。その後、自分が使いやすいように整頓します。実践的・体験的な活動を通して、**実感**を伴って**理解**する学習につなげます。

○タブレット端末の活用



整理・整頓をする前と後の写真を撮影し、タブレット端末のワークシートに貼り付けます。写真を比較し、使いやすく工夫した点をまとめることで、美しく使いやすくなった引き出しに**喜びを感じたり、学びを実感したり**できます。



○協働的な学びにつながる学習活動の工夫



教師が時間で区切り位置付けた交流の時間ではなく、個人追究の時間に交流が位置付けられており、児童の必要感に応じて交流が進められています。交流する目的がはっきりしているなので、自分の工夫と仲間の工夫を比べながら、**自分にとって**、よりよい工夫を見つけることができます。

○協働的な学びを生かし、**個の最適な解決策**につなげる



仲間と交流したことをもとに、**自分にとって**より使いやすい引き出しにするために、もう一度引き出しの整頓の仕方を検討します。全体交流では、自分がどのように整理・整頓したか、工夫したことについて発表します。